



1. 気象概況 (中野市長丘地区気象ロボット観測データによる)

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
11 月平均気温 (°C)	10.8	8.3	7.8	6.5	5.2	5.0	7.9	6.6	月間平年比+1.3°C (高い)
11 月降水量 (mm)	6.0	16.8	0.5	30.9	0.0	22.8	6.5	70.5	月間平年比 9% (極小)
11 月日照量 (h)	41.1	47.3	38.1	37.0	41.4	42.4	120.6	126.7	月間平年比 95% (やや小)

- 11 月気象特記 * 最高 21.6°C (11/5) 低温: -4.3°C(11/25) 降雨: 6.0 mm(11/6) 強風: 12.0m/s (11/19)

参考 (10 月): 平均気温 14.2°C (やや高い)・降水量平年比 35% (極小)・日照量平年比 85% (小)・9~10 月合計日照量平年比 68.8%

特記: 10 月~11 月合計降水量 44.0 mm⇒平年比 28.4% (極小)

- 上旬 (平年比): 気温 (高) +2.5°C、降水量 (極少) 36%、日照量 (小) 87%
- 中旬 (平年比): 気温 (高) +1.3、降水量 (極少) 1.6%、日照量 (並) 103%
- 下旬 (平年比): 気温 (並) +0.2°C、降水量 (極少) 0%、日照量 (並) 98%

2. 品目別生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

露地品目 2018

- 収穫開始: シナノホッペ 11/5、ぐんま名月 11/5~、百年ふじ 11/5~、ふじ 11/10~、赤肉りんご 11/5~
- ぶどう: 11/4~抑制ぶどう出荷中、12/2~冷蔵ぶどう出荷予定。わら巻作業、せん定作業開始 (平年より早い)
- 南水: 平均糖度 14.5% (高い) ⇒ 14%以上の比率非常に高い。 玉サイズ: 14>16>18 で 7 割と小玉傾向
- ラフ: 平均糖度 12% (高い) 追熟程度は平年より遅い傾向 ⇒ 輪紋病小~無 (10/10 現在)
- つがる: 着色不良 ⇒ 収穫ピーク 9/2。平均糖度: 13.2% 玉サイズ: 40・36 中心。生産量昨年比 76%。
- 秋映: 平均糖度 13.6% (総平均) ⇒ 収穫ピーク 9/28。胴サビ多い (3 年ぶり)。日焼け・落果多く 2 割の減収で終了。
- スイート: 平均糖度 14.8% (総平均) ⇒ 曇天により着色不良。芯カビ果の発生小。糖度は昨年より高く推移。
- ゴールド: 平均糖度 14.5% (11/12) ⇒ 10 月初旬から縦状裂果発生。炭そ病小。赤色状日焼け (斑点) 少ない。
- ぐんま名月: 平均糖度 15.0% (11/10) ⇒ 成熟は昨年比 7 日の進み。ツル割れ発生あり。食味良好。
- 赤肉りんご: 平均糖度 15% (11/10 現在) ⇒ 11 月に入り果肉発色良好。
- 百年ふじ: 平均糖度 16.3% (10/26)。低日照下でも着色良好。糖度上昇も他系統より早い。11/5~一定量収穫可能。
- ふじ①: 悪天候により着色上昇遅い。果肉成熟は昨年比 7 日早い見込み。糖度は 10 月初旬で 14%台と高い。輪紋病小。
- ふじ②: 10 月中旬以降気温日較差 15°C以上の日を観測し遅れていた着色がやや上昇した。蜜入りは平年より遅い。
- **ふじ③: 平均糖度 15.7% (11/19) ⇒ 全体に糖度高い。ツル割れ発生少ない。玉流れ 32>28>36 やや大玉傾向か。**
- 日焼け: スイート・ふじで重度 (壊死) の症状多い ⇒ 減収要因の一つ
- 炭そ病: りんご中生種では昨年より大幅に少なく経過。
- 輪紋病: ふじでの発生は無~小。
- 黒とう病: シャイン M で 7/10~発生。全体の発生量は昨年より少ない模様。
- せん孔細菌病: 管内広域で、果実病斑が多発 ⇒ 連続台風により感染拡大 (次年度) 心配される。
- 黒星病: 果実被害は昨年より少ない ⇒ 9 月の悪天候により新梢葉への感染拡大 (次年度病斑) が心配される。
- シンクイムシ類: りんご中生種では加害は昨年より少なく経過。
- **生産量 (昨年比): 南水 80%・ラフ 100%・りんご秋映 85%・スイート 100%・ゴールド 110%・ふじ 85% *11/20 現在**
- 肥大調査 10/15 (昨年比) りんご 103%
- プラム: 10/10 付けで長果 1 が正式に「シナノパール」として種苗登録完了。